

宇津木台 森遊会 実施報告

「第6回定例活動」

No.2020-06

| | | | |
|-----|---|-------|-------|
| 実施日 | 2020年9月27(日) 10:00~12:00 | 天候:曇り | 記録:金森 |
| 場所 | 宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1) | | |
| 参加者 | 参加者:6名(男性4、女性2) 矢島、中村(弘)、野原、吉川、錦織、井手 インストラクター:金森 | | |

実施内容

活動10年目の第六回目。コロナウイルス感染拡大防止対策と雨天・猛暑により4~8月の活動ができなかったため、約半年ぶりに緑地へ入る。指定管理者のノースパークさんにより歩道の下草は綺麗に刈られている。雨上がりのせいもあったが、この時期は様々なキノコが見られる。

竹林は荒れ放題、そうすると蜂が巣を作りやすい。案の定、作業を始めて間もなくオオスズメバチが出てホバリングを始めた、既に戦闘態勢に入って非常に危険なため静かに撤収した。この場所は数年前も伐って積んだ竹の中に巣を作っていたので、冬の間燃やすなどの対策が必要かもしれない。

小川沿いを偵察すると空き缶の不法投棄は片づいていた。コナラが1本、歩道に倒れ掛かっており、チェーンソーで伐っておいたほうがいい。中学生による野外授業がなかったため笹が繁茂し始めている。タヌキの巣は見つからず、巨大化した樁と生垣を剪定して活動は終了した。



半年ぶりに緑地へ入る



沢山の種類のキノコが見られる



歩道は草が刈られている



竹林へ下りる



倒木と草と竹で凄いことに



オオスズメバチが出てきて撤収



小川沿いをゆく



空き缶の不法投棄は片づいていた



中学生による体験授業がなかったため笹が繁茂し始めている



大きくなり過ぎた樁を剪定する



すっきりした樁



生垣も初夏に剪定できずに伸び放題になっている



15分ほどの短い時間ではあったが綺麗になった



秋の味覚も楽しみたい

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋大1個はまだ入るので次回に繰り越し。